

○令和5年度 北海道「体験の風をおこそう」運動推進事業
「青少年教育者のためのSTEP UP セミナー①」(R5.5.18 日帰り)

◆目的

社会教育を進めていく上で必要な能力として期待されるファシリテーションやワークショップ等の理論と実践力を高める機会とする。

◆参加実績(定員20名)

令和5年5月18日(木) 16名

・道職員1名 ・市町村教育委員会職員10名 ・道立施設職員4名 ・教員1名

◆プログラム

○「アイスブレイクの理論と実践」

【講師：札幌大谷大学短期大学部 田中 住幸 氏】

アイスブレイクの意義や考え方について、その理論や種類を学ぶとともに、実技を通して理解を深めた。

○「演劇的手法によるコミュニケーション・ワークショップ」

【講師：富良野GROUP 久保 隆徳 氏】

演劇的手法を用いたコミュニケーション・トレーニングについて、理論とともに実技を通してその手法を学んだ。



◆事業運営・企画のポイント

○青少年教育に携わる職員に求められる能力や技術を学び、それぞれの業務に生かせるように、理論と実技を中心としたプログラム構成とした。

○ナショナルセンターとして、地域の社会教育関係職員や関係機関に、質の高い研修の機会を提供できるように、それぞれの分野で著名な講師に指導を依頼した



◆参加者の声

○本や文書から学ぶのとは異なり、実際にアイスブレイクを行いながら学ぶことができ、自分自身も楽しく活動すると共に、アイスブレイクの効果を実感することができた。

○そのまま仕事で活用できる内容であり、自分自身のコミュニケーションの気をつけたいことへの気づきもありました。

○とても学ぶことの多い時間でした。久々に手を合わせたりするアイスブレイクも体験でき、少しずつコロナ前の活動ができることのわくわくも生まれました。また次回も参加させていただきたいです。

◆事業の成果

○受講者が、それぞれの立場で青少年教育に携わる際に必要な知識や技術を身に付けることができ、今後の教育活動や業務に対する意欲をさらに高めることができた。

○北海道青少年教育施設協議会と連携して実施したことで、関係職員の資質向上に寄与することができた。

